



じょうそう

編集・発行
常総地方広域市町村圏事務組合
守谷市野木嶺522番地
TEL. 0297 (48) 2339
<http://www.jyouso-koiki.or.jp>

新ごみ処理施設建設スタート

平成23年度操業めざす



メーカー提供の参考イメージ図

現在の常総環境センターは、老朽化や新しい環境基準に対応するため、建て替えをすることで計画を進めてきました。これらの内容については、本紙等でお知らせをしてきたところであります。

今回の常総環境センター建替工事は、去る3月18日に入札を執行した結果、株式会社タクマが2億12億1千万円で落札しました。その後、仮契約を締結し3月27日の組合議会で承認されました。

建設は平成20年度から22年度の3カ年で施工し、平成23年度から稼働する計画です。旧施設の解体工事は、新施設稼働後の平成23年度に予定しています。

この建設事業の発注では、建設工事と20年間の管理運営業務を一体的に実施することで、事業費の削減、長期管理運営による財政負担の平準化や業務の効率化・経費節減を図ることといたしました。

しかし、各プラントメーカーによると、最近の原油や資機材の高騰などの影響および20年間の管理運営条件では、20年間の将来リスクを見通すことが困難であるとして、2月5日の入札は成立しませんでした。

そのため、20年間の管理運営が入札不成立の主な原因であることから、これを分離し、建設工事についてののみ3月18日に再度入札を実施しました。

今後は、平成23年度の稼働に向けて、建設を進めてまいります。

ご意見、ご要望をお気軽にお電話下さい。

- 常総地方老人福祉センター「白寿荘」 ☎0297 (48) 3217
- 常総環境センター ☎0297 (48) 2314
- 常総運動公園 ☎0297 (48) 5675
- 常総広域消防 ☎0297 (23) 0119

- 消防テレホンサービス ☎0297 (22) 0119
(常総く旧石下地区を除く)・守谷・つくばみらい地区)
- 常総広域視聴覚ライブラリー ☎0297 (48) 2339
- 県南総合防災センター ☎0297 (83) 2776

新ごみ処理施設建設の経緯

建て替えの必要性

現在の施設は、平成2年より18年間稼働し、設備の老朽化や多くの電気・電子部品がメーカー製造中止になるなど、能力や機能を維持することが困難な状況にあります。今後は、システムや焼却炉全体の交換などの大規模工事が必要になります。さらに、ダイオキシン類の環境基準への対応など、早急な建て替えが必要となる状況となっております。

発注の基本的事項

- 施設の規模
 - 《ごみ焼却施設》
 - 258t/日86t/日×3炉
 - 《資源化施設》
 - 127t/5時間
- ・資源物処理44t/5時間
- ・粗大ごみ処理83t/5時間
- 処理方式
 - キルン式ガス化溶融炉

性能発注

一般的な建設工事は、設計図書に基づき、請負者が施設の建設をしていますが、プラント建設は特許技術等の特殊性のため、組合が提示した性能を満たす施設を請負者が、創意工夫のもとに、設計施工する性能発注方式としました。

建設と運営管理の一体発注

既存施設の解体を含む建設工事と20年間の管理運営業務を一体的に実施することで、事業費の削減、長期管理運営による財政負担の平準化、委託業務範囲拡大による民間へ

のリスク移転と、民間の創意工夫による業務の効率化・経費削減を図ることとしました。

機種選定の経緯

①ガス化溶融炉の採用

ダイオキシン類の発生抑制効果が高いことやごみ処理後の最終処分量が削減できる点など環境対策に有利であることから、ガス化溶融炉を採用しました。

②ガス化溶融炉の機種選定

主なガス化溶融方式の中から全国自治体で採用されているキルン式、流動床式、直接溶融についてメーカーより参考見積図書を提出させ、総合的に評価し、比較検討を実施するとともに、正副管理者、組合議員、地元代表者により3方式で実施している先進自治体の状況を確認し、検討を重ねました。

安全性の確保

それにより、直接溶融はコークスを常時使用するため、温室効果ガスの発生抑制等から、キルン式、流動床式の2方式に絞り込みました。

その後、2方式の各メーカーによるプレゼンテーションを実施し、構造的・管理的・安全的・環境的・経済的要素といった様々な項目を詳細に比較検討しました。

その結果、ごみの持つエネルギーを効率的に利用できる点や、温室効果ガスの発生抑制、最終処分量の削減といった観点を考慮し、キルン式に決定いたしました。

キルン式溶融炉の特徴

キルン式ガス化溶融方式は、ごみを熱分解ドラム(キルン炉)において約450度で蒸し焼きすることで、熱分解ガスとごみが炭化したものに分解します。その際、発生する熱分解ガスを活用するため、ごみの持つエネルギーを高効率利用して溶融処理するシステムとなっております。また、炭化物と熱分解ガスを溶融炉で約1,300度の高温で溶かし、溶融物を冷却したものがスラグ(砂状の固形物)となります。

安定運転

キルン炉で約1時間かけて熱分解をするため、ごみ質変動の影響を受けにくいシステムです。

ごみエネルギーの効率利用

キルン炉で分解した熱分解ガスをキルン炉の加熱に使用することで、他の方式に比べて燃料使用を低減することができま

安全性の確保

当組合では、発注仕様等で性能保証の担保等をつけ、安全性の確保をしています。また、契約した㈱タクマの同型機は、129日間の連続運転実績があり、国が定める安定稼働の要件である90日間以上を満たしております。

入札の経過

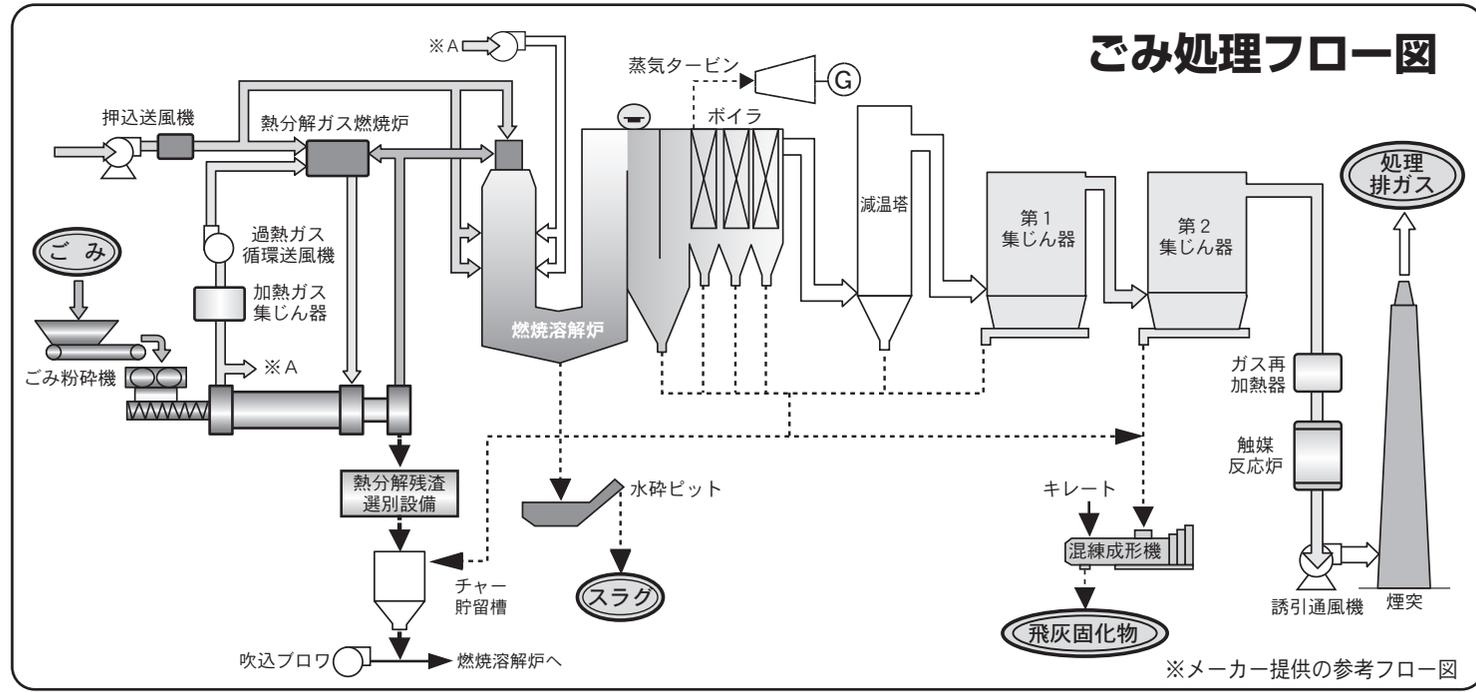
この事業の発注は、既存施設の解体を含む建設工事と20年間の管理運営業務を一体的に実施することで、事業費の削減、長期管理運営による財政負担の平準化、委託業務範囲拡大による民間へのリスク移転と、民間の創意工夫による業務の効率化・経費削減を図ることといたしました。

建設事業費

新施設は、国の方針や地元の要望もあり、処理能力を現在の351t/日から258t/日とし、ぎりぎりまで縮小したため、さまざまなトラブルに対応できるよう、3炉設置としました。さらに、余熱利用事業への対応などの仕

機種選定協議の主な経過

年月日	会議等	協議内容
H13.3.31	計画策定	ダイオキシン類の発生抑制や最終処分量の削減等を重視し、ガス化溶融方式での更新を位置付け
H14.5.7	管理者会	スケジュール・方式などについて協議
10.15	組合議会	スケジュール・方式などについて協議
H15.1.22	管理者会	スケジュール・発注仕様・方式などについて協議
H16.3.29	組合議会	ガス化溶融方式での更新スケジュールの協議
H17.6.6	管理者会	5方式の比較検討(ストーカ+溶融炉、直接溶融、流動床式、キルン式、ガス化改質溶融)
8.31	組合議会	5方式の特徴について比較検討
11.8	管理者会	環境保全、省エネルギー性、技術的信頼性から3方式に絞り込む(直接溶融、流動床式、キルン式)
12.21	組合議会	3方式の特徴について比較検討
H18.3.20	参考図書	参考見積設計図書の提示(3方式8社)
5.19	管理者会	3方式の技術的特性と費用負担の比較検討
7.4	組合議会	3方式の技術的特性と費用負担の比較検討
8.4	先進地視察	正副管理者・組合議員・クリーン守谷協議会合同(習志野市の直接溶融、流山市の流動床式)
9.28	先進地視察	正副管理者・組合議員・クリーン守谷協議会合同(山梨県韮崎市峡北広域のキルン式)
H19.2.6	管理者会	直接溶融はコークス使用のため、温室効果ガス発生抑制等から2方式に絞り込む(流動床式・キルン式)
5.28	組合議会	2方式の比較検討
8.24	管理者会	プレゼンテーション(クリーン守谷協議会参加)
9.21	組合議会	2方式のプラントメーカーが建替え事業の提案
10.15	管理者会	熱回収率が高く温室効果ガス発生抑制や最終処分量の削減から2方式よりキルン式に決定
11.27	組合議会	キルン式での更新を報告
H20.2.5	組合議会	キルン式での更新を確認
2.7	入札執行	入札不成立
2.28	組合議会	入札後の対応検討
3.10	管理者会	再入札に向けての方針を確認
3.18	組合議会	予算範囲内で建設のみの入札に取組むことを協議
3.27	入札執行	㈱タクマ落札
3.27	組合議会	第三次ごみ処理施設建設工事請負契約の締結



管理運営の方針

当初計画の長期管理運営は、経費削減に効果のある手法ですが、現在の経済情勢を勘案すると20年間という長期運営は困難であるため、短期的な運営に見直しを行い、すでにキルン式で実施している自治体の状況を参考に、組合の特性を考慮しつつ、安全で安定的な運転と財政負担に有利な運営を目指します。

建設事業費

事業費は約212億円で、焼却施設が173億円、資源化施設が34億円、既存施設解体が5億円です。

入札の経過

新施設は、国の方針や地元の要望もあり、処理能力を現在の351t/日から258t/日とし、ぎりぎりまで縮小したため、さまざまなトラブルに対応できるよう、3炉設置としました。さらに、余熱利用事業への対応などの仕

募集コーナー

常総地方老人福祉センター「白寿荘」

白寿将棋大会

《開催日》6月13日(金)
 《内容》A・B級のクラス別によるリーグ戦(5回戦)を行う1局45分
 《参加人数》各市約15名
 《申込方法》各市担当窓口へ申し込む
 《受付期間》4月24日～5月14日

白寿舞踊発表会

《開催日》6月27日(金)
 《内容》練習している各種舞踊の発表
 《参加人数》各市10組
 《申込方法》各市担当窓口へ申し込む
 《受付期間》5月7日～28日

白寿囲碁大会

《開催日》9月5日(金)
 《内容》A・B・C級のクラス別によるリーグ戦(5回戦)を行う1局45分
 《参加人数》各市約15名
 《申込方法》各市担当窓口へ申し込む
 《受付期間》7月17日～8月6日

白寿荘行事申込窓口

●常総市社会福祉協議会
 TEL(23)2233
 ●取手市社会福祉協議会

TEL(73)3010
 ●守谷市介護福祉課高齢福祉グループ TEL(45)1111
 ●つくばみらい市社会福祉課 TEL(58)2111
 ●坂東市社会福祉協議会 TEL(35)4811

常総運動公園

初心者水泳教室

《開催日時》6月11日(水)・12日(木)・13日(金)・18日(水)・19日(木)・20日(金)・25日(水)・26日(木)の8日間の午前10時から正午
 《会場》常総運動公園温水プール
 《対象者及び募集人員》常総広域圏内にお住まいで18歳以上の初心者の方35名
 《参加費》1500円
 《申込方法》郵便はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、常総運動公園管理事務所までお送りください。(参加を受付けた方には通知文を送付します。)

常総広域視聴覚ライブラリー

ビデオ撮影講座

ビデオカメラの基本的な操作や撮影方法を学びませんか。
 《内容》ビデオカメラの取扱い、撮影の講義、屋外でのビデオカメラ撮影実習
 《日時》6月1日(日) 午前10時～午後4時
 《場所》組合管理事務所
 《募集人員》20名(申込多数の場合は抽選、最小開講人数10名)
 《受講対象者》常総広域圏内に在勤・在住の方
 《受講料》1,000円
 《持参するもの》筆記用具、昼食
 《申込期限》5月30日(金)(当日消印有効)
 《申込方法》往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を明記し、次の宛先までお送りください。
 〒302-0117 守谷市野木崎2522 常総広域視聴覚ライブラリー「ビデオ編集講座」事務局

常総ふれあいの杜

障害者の通所による生活介護利用者募集

昨年8月にオープンしました常総広域障害者支援施設「常総ふれあいの杜」では、56名の方が入所され、日中においては生活介護支援、夜間においては食事、入浴、排泄等の日常生活上の支援を行う入所支援を受け、快適な入所生活を過ごしております。
 4月からさらに障害者の皆様のお役に立てるよう、通所による生活介護支援事業を実施いたします。
 常総広域圏内の障害者で通所による生活介護を希望される方は次によりお申し込み下さい。

ビデオ編集講座

デジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンで編集してみませんか。
 《内容》編集の講義、映像、タイトル、音声編集
 《日時》6月15日(日) 午前10時～午後4時
 《場所》組合管理事務所



水戸市笠原町978-25
 茨城県開発公社ビル4F
 (財)消防試験研究センター
 茨城支部
 TEL029-301-1150

結果報告

●白寿書道展(2月8日) 出展数29作品
 特選 加藤 和夫(取手市)
 金賞 三條 経助(取手市)
 銀賞 新井 りん(常総市)
 銅賞 中山美代子(常総市)
 ●白寿のど自慢民謡大会(2月22日) 出場者30名
 優勝 堀 治(守谷市)
 準優勝 柿沼 達男(常総市)
 第三位 大滝 ウメ(常総市)
 ●白寿カラオケ大会(3月14日) 出場者60名
 優勝 廣島 和子(守谷市)
 準優勝 鈴木 勝雄(取手市)
 第三位 岡田 太一(常総市)
 ●第27回常総広域圏小学生なわとび競技大会(2月24日) 参加児童1014名
 恒例となった常総広域圏の小学生のなわとび大会を開催しました。
 競技前には、アジアチャンピオン粕尾将一(筑波大4年)氏が音楽に合わせたパフォーマンスを演技し、驚きの声があがっていました。
 《二重とびの部》
 坂尾謙治(松前台小6年) 400回
 《時間とびの部》
 西山慎也(守谷小6年) 32分50秒
 でした。

常総広域消防

危険物取扱者試験の案内

甲種	乙種(第1類～6類)	丙種(近隣会場抜粋)
A日程	試験日 6月8日(日) 試験会場 つくば国際短期大学 願書受付期間 4月16日(水)～30日(水)	試験日 6月8日(日) 試験会場 つくば国際短期大学 願書受付期間 4月16日(水)～30日(水)
B日程	試験日 6月29日(日) 試験会場 下館工業高等学校 願書受付期間 5月14日(水)～27日(火)	試験日 6月29日(日) 試験会場 下館工業高等学校 願書受付期間 5月14日(水)～27日(火)
C日程	試験日 10月5日(日) 試験会場 つくば国際短期大学 願書受付期間 7月28日(月)～8月11日(月)	試験日 10月5日(日) 試験会場 つくば国際短期大学 願書受付期間 7月28日(月)～8月11日(月)

《申請先》
 〒310-0852

議会報告

◇議会全員協議会(2月7日)
 ・第三次ごみ処理施設建設管理運営事業の入札結果報告
 ・第五次常総地方広域市町村圏計画の推進状況報告

◇組合議会臨時会(2月7日)
 ・平成19年度組合一般会計補正予算(第2号)
 (給与条例の一部改正に伴う歳出額の補正)
 ◇議会全員協議会(3月10日)
 ・第三次ごみ処理施設更新事業についての協議

◇組合議会臨時会(3月10日)
 ・副議長の選挙
 (堤實氏(つくばみらい市議会選出)が当選)
 ・議会からの監査委員選出
 (斉藤勝久氏(取手市議会選出)を選任)

◇組合議会定例会(3月27日)
 ・工事請負契約の締結
 (常総環境センター第三次ごみ処理施設建設工事の締結)
 ・第五次常総地方広域市町村圏計画の策定
 (平成20年度から10力年にわたる常総広域圏の総合計画)
 ・平成19年度組合一般会計補正予算(第3号)
 (歳入歳出18億8千3百77万3千円減額し、55億5千3百39万5千円とした。主な理由は環境センター建替事業の遅延による減額)
 ・平成20年度組合一般会計予算
 (歳入歳出1億9千6百45万5千円増額し、77億3千4百62万3千円の一一般会計予算)

第5次常総地方広域市町村圏計画

「自然と文化が調和した活気あふれる圏域」をキャッチフレーズとして、常総広域圏（常総市、取手市、守谷市、つくばみらい市）の行政運営の指針となる第5次常総地方広域市町村圏計画が、3月の組合議会定例会において承認され、4月よりスタートしました。

この計画は、平成20年度を初年度とする10カ年（平成20年度～平成29年度）の基本構

想と、5カ年（平成20年度～24年度）の基本計画からなり、常総広域圏において総合的・一体的に施策を展開するために策定しました。

「自然と文化が調和した活気あふれる圏域」

平成20年4月スタート

1 思いやりの心でつなぐ圏域づくり（福祉・健康）

- 施策項目**
- 高齢者福祉の充実
 - 障害者福祉の充実
 - 健康づくりの推進
 - 子育て支援
 - 医療の充実
 - 社会保障の充実
- 広域の事業**
- 常総地方老人福祉センター事業
 - 常総ふれあいの杜事業



2 安全で自然豊かな圏域づくり（自然環境・生活基盤）

- 施策項目**
- 生活環境の保全
 - ごみ処理対策
 - 公園・緑地の整備
 - 消防、防災対策
 - 防犯・交通安全対策
- 広域の事業**
- 常総環境センター事業
 - 常総広域消防本部事業
 - 県南総合防災センター事業



4 快適で暮らしやすい圏域づくり（都市基盤）

- 施策項目**
- 有効な土地利用の推進
 - 道路の整備
 - 公共交通の充実



6 人が集い心がふれあう圏域づくり（コミュニティ）

- 施策項目**
- 住民活動への支援
 - 男女共同参画社会の推進
 - 地域交流、国際交流の推進



3 豊かな心と個性を育む圏域づくり（教育・文化）

- 施策項目**
- 教育の充実
 - スポーツ・レクリエーションの推進
 - 生涯学習の推進
 - 地域文化の振興
 - 青少年の健全育成
- 広域の事業**
- 常総運動公園事業
 - 常総広域視聴覚ライブラリー事業



5 明日をひらく活力に満ちた圏域づくり（産業・経済）

- 施策項目**
- 農業の振興
 - 商工業の振興
 - 観光の振興

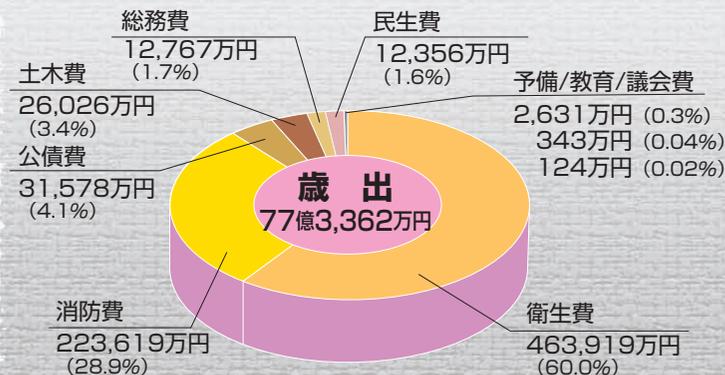


6 効率的な行政体制による個性豊かな圏域づくり（行財政）

- 施策項目**
- 行財政運営の効率化
 - 広域行政の推進
- 広域の事業**
- 職員研修事業

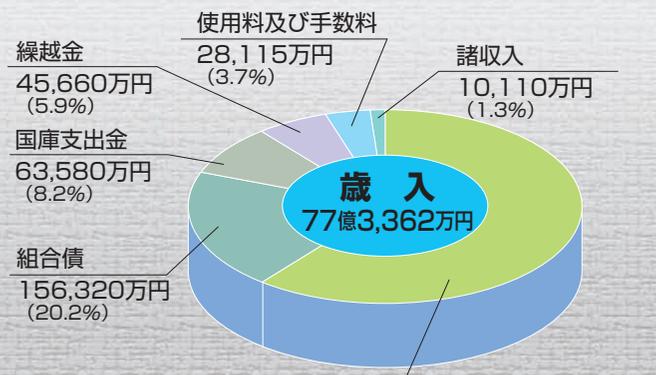


「自然と文化が調和した活気あふれる圏域」



歳出説明

衛生費：常総環境センター管理運営経費、ごみ処理施設更新事業費
 消防費：消防の管理運営経費
 公債費：組合が借り入れたお金の返済金
 土木費：常総運動公園の管理運営経費
 総務費：総括的運営調整経費、職員共同研修経費、公平委員会・監査・防災センターの運営経費等
 民生費：白寿荘の管理運営経費、白寿荘建替事業費
 予備費：
 教育費：教育委員会運営経費、視聴覚ライブラリー管理運営経費
 議会費：議会関係の運営費



歳入説明

分担金及び負担金：構成4市からの負担金
 組合債：ごみ処理施設建替事業債、白寿荘建替事業債
 国庫支出金：ごみ処理施設建替事業交付金
 繰越金：前年度繰越金
 使用料及び手数料：常総運動公園・白寿荘の施設使用料、自動販売機設置使用料等、ごみ処理・危険物取扱手数料
 諸収入：銀行預金利子、資源物・廃プラスチック固形燃料売払代、高速道路救急業務支弁金等

平成20年度の組合一般会計予算が、3月の第1回組合議会定例会において審議され、可決されました。

新年度予算の総額は77億3,362万3,362円となり、前年度比較で1億9,645万5,000円、率にして2.6%の増額となりました。ごみ処理・消防等のサービスを有効かつ効率的に住民の皆様へ提供していく予算となっております。なお、増額の主なものは、平成22年度稼働開始予定の環境センター建替工事費によるものです。

平成20年度の組合予算概要